素戔嗚尊八岐大蛇退治

(資料)
- 各神装束等一式
- 絵幕　2張
- 天叢雲剣等道具類
- 写真

文書類

- 上通神代神楽歴 …… 明治17年～平成6年
- 神代神楽詞言(上組) …… 昭和60年
- 上通組、下通組神代神楽言上書 …… 昭和36年
- 神代神楽事語(下組) …… 明治26年
- 下通神代神楽記録 …… 明治40年
- 神代御神楽口上簿(下組) …… 昭和2年

神楽面

- 荒面、翁面、若人面
- 般若面、火吹男
- お多福、悪神、鬼女面、
- 天狗面、狐面、高砂 等

絵馬

写真

道具等

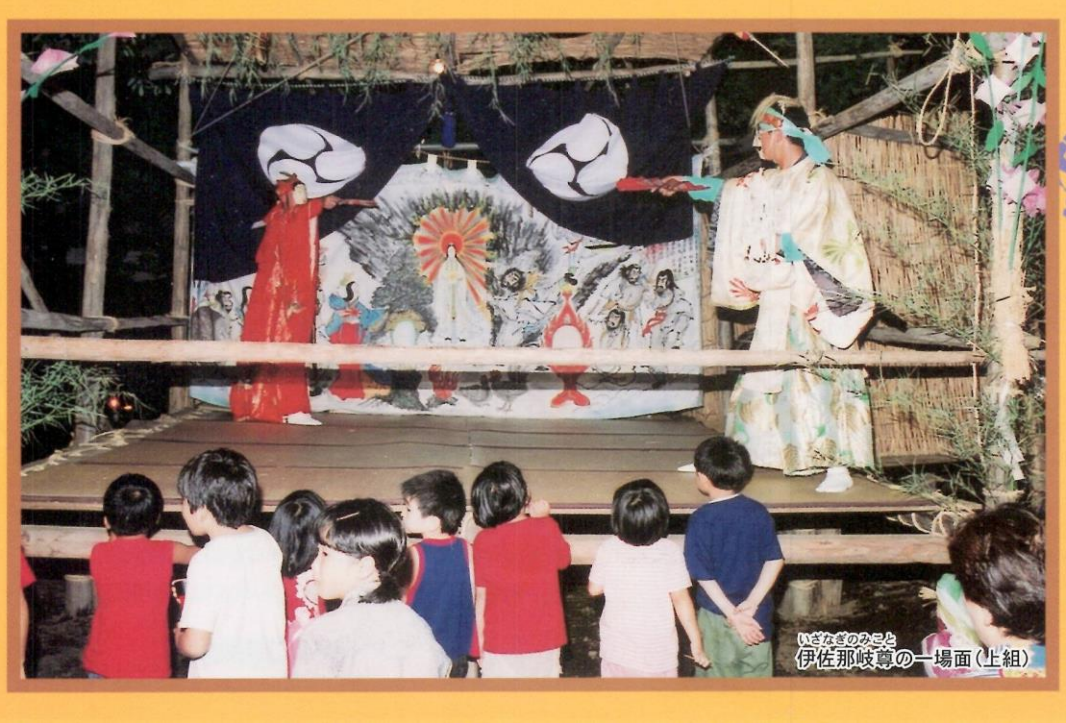
[本楯神代神楽演目]

上　組

一、巫女舞
二、番叟舞
三、四柱神
四、伊佐佐那岐尊　前幕・後幕
五、彦狭知出現　前幕・後幕
六、素盞嗚尊　前幕・後幕
七、天の岩戸開
八、国盗姿那
九、八幡大郎義家
十、住吉神楽
十一、瀬尻神楽

下　組

一、巫女舞
二、番叟舞
三、四柱神
四、伊佐佐那岐尊　前幕・後幕
五、素盞嗚尊　前幕・後幕
六、天の岩戸　渋沢彦太郎
七、田村将軍鈴鹿、立烏帽子征伐
八、国盗姿那
九、日本武尊　維盛征伐
十、十若丸、熊坂
十一、田村将軍鈴鹿、立烏帽子征伐
十二、天の岩戸開


伊佐那岐尊の一場面(上組)

第117回企画展
酒田の民俗芸能資料展

神代への誘い

本楯神代神楽

開催期日／平成13年9月20日(木)～11月25日(日)
開館時間／午前9時～午後4時30分
休 館 日／なし
入 館 料／大人100円、児童・生徒50円
65歳以上の方と身体障害者の方は無料です

酒田市立資料館
酒田市一番町8-16　TEL(0234)24-6544
FAX(0234)24-6544

開催にあたって

酒田市無形民俗文化財に指定されている本楯神代神楽は、江戸時代中期頃から続いてきたものと思われます。

星空の下に演じられる本楯神代神楽は美しい古風の舞型と太鼓、笛、摺鉦(すりがね)による囃子(はやし)とが相まって夢幻的な印象を人々に与え、人々の心を遠い神話の世界へ誘(いざな)ってくれます。

明治の頃までは飽海のあちこちで演じられていた神代神楽も、多くはその伝承が絶えてしまい、今残っているのは本楯地区などほんのわずかな地区になりました。

伝統芸能がこれからも絶えることなく継承されていき、また、多くの方々から神代神楽への理解を深めていただければと期待し、今回の企画展といたしました。

企画展の開催にあたり、本楯神代神楽上組保存会、下組保存会の方々をはじめ、関係各位に厚く御礼申しあげます。

酒田市　本楯神代神楽(もとたてじんだいかぐら)のあらまし

(酒田市指定無形文化財・昭和50年4月11日指定)

酒田市本楯に伝わる神楽は、幾多の火災で記録を失い、いつ頃から始まったかは定かではないが、舞いの形式や、面、装束、その他の道具からみて、おそらく、江戸中期頃から続いて来たのであろうと言われている。

本楯神代神楽は上組23名、下組25名二組からなり、各組とも舞い手(マイコ)の他に、囃子方、太鼓、笛、摺鉦で構成されている。神代神楽と言うのは神話を舞いによって演じる一種の舞踊劇であり、元々は舞う者が神自身として舞台に立ったのであって、言わば、日本演劇史の源流をなすものと言われている。曲目にも振りにも多少の差異があって、上組は其の産土神八坂神社で8月24日に、下組は薬師神社で9月7日の夜に奉納する。舞台は仮設のヨシズ張りの舞台を組む。また、大物忌神社の祭りは6月1日に宵祭り、2日の本祭りで上、下、交互に、境内の神楽殿で行われている。

本楯は出羽の国開拓時代から政治、文化、交通の要所で、県指定史跡の新田目城跡があり、本楯の地名もそこから起こった所で、それに荘厳な大物忌山(鳥海山)を目前にしている所であるから、このような神事芸能の育つ環境が整っていたと言えよう。本楯神代神楽は、周辺の神代神楽に比べて、一段と神話色が濃くその舞い方が流麗で力強く、比山番楽(遊佐町)の舞いの影響や殺陣(たて)の力強さに特徴のある南部神楽(岩手県)などの影響を受けていると言われている。最初は巫女舞、三番叟を舞い、次いでその年選んであった曲目を上演する。舞台正面奥には天の岩戸開きの有様を描いた絵幕が張られ、その中央部に覗き穴が開いていて、そこから舞いの進行を伺う仕掛けになっている。上部に青地に三つ巴の紋を染め抜いた水引きの幕を張り、前面の両側の柱には笹竹が結び付けられ、上部には桜花模様の提灯15個が下げられる。絵幕の陰は楽屋で、舞い手自身で詞言を言いながら進行する。装束の特徴はどの役も神事芸能らしく多彩である。面は、上組23枚、下組25枚伝わって、それぞれ役に合う面をつける。舞子が舞台に登場すると、まず、役柄を名乗り、その物語の筋に入る。詞言を述べる時は囃子を止め、舞子は梵天を持って、扇をかざした独特なしぐさで述べるのである。

奉納神社と例祭日

大物忌神社　6月1日、2日

八坂神社(上組)　8月24日

薬師神社(下組)　9月7日

巫女舞(みこまい)

上組

下組

(資料)●装束等一式
●写真

三番叟(さんばそう)

上組

下組　翁三番叟

(資料)●装束等一式
●写真

天の岩戸開き

(資料)●各神装束等一式
●絵幕　2張
●鶏、八咫鏡(やたのかがみ)、榊(さかき)等道具類
●写真

宇受売命(うずめのみこと)

天照大神(あまてらすおおみかみ)

思兼尊(おもいかねのみこと)

手力男尊(たじからおのみこと)

玉祖尊(たまのやのみこと)

絵幕　天の岩戸開き　旭蘭筆